



# だより

— つながれ ひろがれ —

第134号  
 特定非営利活動法人  
 環境パートナーシップちば  
 TEL : 090-8116-4633  
 E-mail : info@kanpachiba.com  
 https://kanpachiba.com/

## 2020年度「SDGsを達成するための ESD地域リーダー担い手育成事業」始まる

この事業は当会が活動の目的としている『環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすこと』を実現する事業として2018年度から地球環境基金の助成をいただき実施して3年目となります。

SDGsの達成に向け、市民が環境を自分事として取り組み、千葉県内における持続可能な社会の実現を目指して、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を持った担い手(地域ESDリーダー)育成を、1年目は分野別、2年目は千葉県北部地域でのESDプログラムづくりを通して、28名のESD地域リーダーが誕生しました。

2020年度は、南部地域で市原市と南房総市を会場にして、ESD地域リーダー育成を実施いたします。千葉県内の環境学習に関わる方は、当会ホームページ新着情報からご覧いただけますので、是非ご応募ください。

このESD地域リーダー育成を軸に、育成のみに終わることなく、担い手が地域でコアリーダーとして活躍していけるよう、多様な主体のパートナーシップでの場(プラットフォーム)づくり会議を開催してきました。会議メンバーも自分事として育成を応援する気持ちを育てながら、地域リーダー育成と同時進行してきました。2019年度会議の経過から、だより前号(133号)で会議メンバーの一人久保田康雄様(NPO法人千葉自然学校理事長)から「思うこと」として目指す方向性や、3年目への具体的な取り組みについてもご提案いただいています。

2020年度は、2年間の検討内容をふまえて、提案事項についても9月7日(月)の会議から、次年度につながるプラットフォームの基盤と運営について、メンバーの皆様で検討していただきます。

SDGs/ESD理解促進のための公開セミナーは、育成と場づくりに共通してのSDGs/ESDに興味のある市民を増やすという課題に向けて、9月

と3月の2回開催予定としています。

第1回公開セミナーは、大塚明氏(元伊豆市立天城中学校校長)講演「持続可能な社会の創り手を育てる教育(ESD)とは?」を、9月13日(日)10:00~12:00に会場を五井会館(JR五井駅近く)で予定しています。2020年度のスタートとなりますので、SDGs/ESDにご興味のある方はぜひお申し込みください。

また、2020年度事業内容及びスケジュールにつきましては、当会ホームページで詳細を掲載していますので、ご確認の上ご参加いただけますと幸いです。

SDGsを達成するために、ESD地域リーダー担い手育成と場づくりを地域の担い手である市民・企業・学校・行政の皆様方が自分事として関わっていただけることを願っておりますので、よろしくお願いたします。

なお、本事業は、新型コロナウイルス感染症対策など対応して進めてまいります。

**SDGsを達成するための  
ESD地域リーダー担い手育成事業**

特定非営利活動法人環境パートナーシップちばでは、SDGsを達成するために、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を持った担い手を育成する事業を、2018年度から2020年度までの3年間事業で実施しています。  
2020年度は、2018年度・2019年度の事業を基に、千葉県内の南部地域で開催していきます。

【主催】特定非営利活動法人環境パートナーシップちば  
【後援】千葉県、市原市、南房総市、ESD活動支援センター(申請中)

**① ESD地域リーダー育成事業**

現在活動している団体や個人の方などに参加していただき、すでにお持ちの環境学習プログラムを、ESDの視点を取り入れたプログラムに見直す作業を行います。  
この作業を通してお互いに育ち合うことで、千葉県内に地域ESDリーダーを育成していきます。  
2020年度は、市原市と南房総市の2会場で各3回の連続講座を開催します。

**対象** 環境学習の実践に関わる方

**募集人数** 市原会場/南房総会場:各10名  
(北部地区の方も歓迎です)

**参加費** 無料(会場までの交通費を支給します)

**内容** ESDの視点を入れた環境学習プログラムを作成します。

●ファシリテーター  
石井 雅章 氏  
[神田外語大学 言語メディア教育研究センター長 准教授]

※千葉県ホームページ

<開催時間> 各日曜 13:00~16:00>

内 容	市原会場	南房総会場
第1回 【午前】第1回公開セミナー聴講(聴衆参加) 【午後】地域の課題とESDプログラムガイドブック	9月13日(日);2地区合同 五井会館	
第2回 ESDプログラムガイドブックを活用したプログラム作成	10月11日(日) サンブラザ市原	10月19日(月) とみうら元張保楽部
第3回 ESDプログラムブラッシュアップ	11月29日(日) サンブラザ市原	11月16日(月) とみうら元張保楽部
プログラム発表会	1月25日(月);2地区合同 サンブラザ市原	

●五井会館/市原市五井中央西2丁目3番地13 ●サンブラザ市原/市原市五井中央西1丁目1番地25  
●とみうら元張保楽部/南房総市富浦町東間88-2

お申し込み方法は、裏面をご覧ください →

(文責:横山清美)

## 通常総会報告

# 2019年度活動報告及び2020年度活動計画

6月13日(土)に開催しました2020年度通常総会において、特定非営利活動法人環境パートナーシップちばの、『2019年度事業報告及び2020年度事業計画』が承認されましたのでご報告します。

引き続き、みなさまのご支援並びにご参加をよろしく申し上げます。

### 【2019年度事業報告】

2019年度は、秋に2つの大型台風が千葉県を直撃し、いくつかの計画が中止となりましたが、みなさまの御協力のおかげをもちまして以下の事業を実施しました。

1. 『多様な主体とのネットワークの構築事業』
  - 1) 「エコメッセ2019 in ちば ～みんなで取り組むSDGs～」は大盛況のうちに終了しました。当会は実行委員会事務局を担当するとともに、法人として「賢く使おうプラスチック～プラスチック洪水を見直して～」をテーマに出展し多数の方に来場いただき、アンケートに回答いただきました。
  - 2) ESDの取り組みを支援する「地域ESD活動推進拠点」として、全国・関東地域の地域拠点との意見交換で、ネットワークの構築をしました。
2. 『持続可能な社会を推進する人材育成事業』
  - 1) 【地球環境基金助成活動】2年目事業として、千葉県内の環境保全(学習)などの担い手育成や2030年までのSDGs達成に向け、「SDGsを達成するためのESD担い手育成事業」に多くの方々にご参加いただき、進めました。
    - ・「ESD地域リーダー育成事業」を千葉県北部の船橋(千葉)と成田で開催し、15名が参加してESDプログラムづくりを学び、「ESDプログラムガイドブック2019」としてとりまとめました。
    - ・「SDGsを自分ごとに」などのテーマで公開セミナーを2回開催しました。
    - ・「SDGsを進めるプラットフォームづくり会議」で、ESD地域リーダーが活躍できる場づくりを目指し、団体・企業・行政・学校関係者に参加

いただき、プラットフォーム構築について協議しました。

- ・活動経過をニュースレター(5号～8号)として発行。行政・会員・団体などに配布しました。
- 2) 講演会「ちばSDGsフォーラム ～私が取り組むSDGs～」
  - エコメッセ in ちば会場で【ちば環境再生基金助成事業】として、「SDGsの概要」の講演後、SDGsの視点を取り入れ地域で活動をされている団体からの事例紹介の後、パネルディスカッションを行いました。定員を上回る多数の方にご参加いただきました。
- 3) 第71回環境パートナーシップエコサロン「私たちの生活とマイクロプラスチック」講師：東京理科大学 二瓶泰雄教授で開催しました。
- 4) 千葉市・浦安市での公民館講座や、いちほら市民大学環境コースの依頼を受け実施し、各地域の市民に参加いただきました。

### 3. 『環境活動の推進と充実を図るための情報の発信事業』

会報「だより」を年度に6回発行し、会員・県及び市の関係部署・市民活動センター・市民環境団体等へ送付し、ホームページのコンテンツの見やすさの向上とともに、活動報告及び最新情報の発信に努めました。

### 【2020年度事業計画】

基本的には2019年度事業を踏襲し『1、ネットワークの構築事業』『2、持続可能な社会を推進する人材育成事業』『3、情報の発信事業』を実施しますが、新型コロナウイルス対策の影響で一部変更もあります。具体的な実施計画は、会報『だより』や『ホームページ』などでご案内いたします。

中でも、3年目を迎えます【地球環境基金助成金事業】の「ESD地域リーダー育成事業」は千葉県南部(市原市・南房総市)他で開催するほか、「公開セミナー」「SDGsを進めるプラットフォームづくり会議」の実施を計画しています。今年度もよろしく申し上げます。

(文責：川島謙治)

# 気づいていますか？ 香りのマナー

印西 水と暮らしを守る会 代表 竹内順子

印西 水と暮らしを守る会では、人にも環境にもやさしいせっけんを使う暮らしを提案しています。そうした中、合成洗剤とペアで使われる柔軟剤の香りで体調を崩している人が増えていると知り、何はさておき、今はこのことを広く皆さんに伝えなければと会員一丸となって取り組んでいます。

現在、香りブームで香りつき商品が激増しています。それに伴い、柔軟剤、芳香剤、消臭除菌スプレーなどの人工的な香料によって、頭痛・めまい・脱力感などの健康被害を受ける人が増えています。化学物質過敏症の始まりです。個人差はありますが、一度ある程度の量の化学物質にさらされると、それ以降はほんのわずかな量の物質にも過敏に反応するようになります。重症になると日常生活を送ることが困難になり、社会活動に支障をきたします。特に成長過程にある子どもほど、化学物質の影響を大きく受けるといわれています。中でも柔軟剤は香りを長持ちさせるマイクロカプセルなどの技術を使うことで被害が拡大しました。

2017年夏に2日間限定で日本消費者連盟が開設した電話相談「香害110番」には、213件もの苦情や悲鳴が寄せられ、新たな公害である「香害」として、マスコミでも社会問題と捉える報道がなされています。

私たちがまず取り組んだことは、柔軟剤などの人工的な香料等によって苦しんでいる人への理解を促し、誰でも香料等によって化学物質過敏症を発症する可能性があることを注意喚起するために、香害について分かりやすく解説したリーフレット『香りのマナー』を作りました。

中学校3校で毎年行っている環境学習の教材に使ったり、一部公共施設でポスター掲示やリーフレットを配布したりすることができました。その間、健康増進課でも2月の広報いんざいに「化学物質過敏症をご存知ですか」と香料自粛の呼びかけを掲載しました。

しかし、市の取り組みはそれ以上には進展しませんでした。5月に印西市長に要望書を提出しても、広報掲載原稿をHPに転載するにとどまり前進しません。原因が解明されておらず、厚労省が何らかの見解を出していないものに対して、市としては動くことが難しいとのこと。予防原則の観点から市民を香害から守るために動くべきです。

そこで、日本消費者連盟制作のDVD『香害110番』上映会や化学物質過敏症支援センターの広田しのぶ理事長の講演会を開催し、行政、市民にアピールし機運を盛り上げ、地元印西の患者の会や医師と連名で、今年2月印西市議会に「香害から市民を守る取り組みに関する請願」を提出しました。市が主体的に取り組んでくれるよう求めました結果、賛成多数で採択されました。しかし、さあ、これからだ！と思った矢先にコロナ禍の自粛生活です。残念ながら現在運動が停滞しています。

そんな時、日本消費者連盟が事務局の「香害をなくす連絡会」が香り被害についてのアンケートを昨年12月から3月まで実施し、9000人の回答があり、7月1日にその結果を記者発表しました。メーカーや国が実態調査をする姿勢が見えないから、私たちが調べましたとのこと。これは私たちに大きな力を授けてくれました。これだけの被害者がいるということが可視化されたわけで、改めてこの運動を続けていく意義を感じました。

アンケート集計結果から見えてきたものは、①体調不良経験者が約8割、そのうち退職・休学経験者が約2割、②具合が悪くなる原因の筆頭は、柔軟剤、香りつき合成洗剤、③マイクロカプセルについて、認知度は高く対策を求める声が多い。この結果を強力なツールにして、これからドンドン訴えてまいります。

〔リーフレット、ポスターは、「印西 水と暮らしを守る会」のFace book をご覧ください。〕



**学校給食の献立者**  
どのように洗濯していますか？

**相談のつてくれる窓口**

- 指定NPO法人 化学物質過敏症支援センター  
横浜市中区元町4-39 5F  
TEL.045-222-0685
- 専門的な診療が受けられる医療機関  
(医師認定受診で主なもの)
- 北里大学北里病院 内科呼吸器科呼吸器外来  
(アレルキー科) 呼吸器科  
東京都港区白金5-9-1  
TEL.03-3444-6161
- そよ風クリニック 呼吸科外来  
東京都港区芝2-41-12 2F  
TEL.03-5395-5135
- すずき小児科医療 鈴木光彦医師  
千葉県印西市小倉4-12  
TEL.0476-47-3765

発行 2019年2月  
印西 水と暮らしを守る会  
メール: insaimizukura@yahoo.co.jp  
電話: 090-3907-8555

当会は、千葉県化学物質過敏症研究会(公)と共同で活動を行っています。みんなのVOCsと健康を守る活動につなげていきます。

印西 水と暮らしを守る会

印西市健康増進課に、市で香害について啓発してほしいと要望したところ、会でリーフレットを作ったらと勧められ、原稿を添削していただき、2019年1月に出来上がりました。『香りのマナー』のポスターも作り、それらを印西市まちづくりファンドの助成金で印刷し、市内

## 大場信義先生のご冥福をお祈りいたします

房総野生生物研究所 手塚幸夫

ホタル研究の第一人者であり、里山の自然保護のリーダーでもあった大場信義先生が亡くなりました。

訃報が入ったのは5月初め、桑波田さんからの電話でした。「ある会報に大場先生が亡くなられたと書いてあるのですが」とのこと。でもにわかには信じることはできません。9か月ほど前（昨夏）に大場先生のコメントが載った新聞記事を見た記憶があるし、誤報ではないだろうかとインターネットで検索をかけてみました。

訃報を報じるサイトは見当たらなかったことから、10日ほど悶々としていたのですが、思い切って大場先生の自宅に電話をしてみることにしました。先生が電話口に出てくれるのではないかとドキドキしながらの10回ほどのコール、電話に出たのは奥様でした。今年1月20日、誤嚥性肺炎で緊急入院され、その後31日の午後3時に静かに息を引き取られたとのことでした。病院の対応が違っていたら命をつなぐことができたのではないかという奥様の言葉が印象的でした。本当に残念です。

振り返ってみると1990年代以降、ホタルに関する催しがあると必ずと言っていいほど大場先生に頼ってきたように思えます。

2002年のホタルサミット in 八千代市（故加藤賢三氏が実行委員長）や2006年のホタルサミット in いすみ市ではサミットのメインイベントである記念講演をお願いしました。その後も、2008年と2009年に千葉県立中央博物館、2011年に富里市、2017年には再び千葉県立中央博物館というように、何度も千葉県でのホタルの調査・保護活動についての講演・レクチャーをしていただきました。さらに、ホタルに限らず水辺を中心とした自然の保護と再生についても話をさせていただく機会もありました。

自然の保護と再生ということで特に印象に残っているのは、ホタルサミット in いすみ市の懇親会の席で千葉県知事（当時）の堂本暁子さんに里山の自然保護に関して熱く進言されていた姿です。その翌日、堂本さんは千葉県立中央博物館と千葉県自然保護課の職員を知事室に呼んで「生物多様性ちば県戦略」の策定を指示したとのことでした。（元千葉県立中央博物館副館長中村俊彦さん談）全国の先陣を切って策定された生物多様性ちば県戦略、その生みの親の一人は大場先生だったのでした。

2017年に、いすみ市のヘイケボタル生息地でLEDライトが光害として深刻な影響を与えていることを報告させてもらった際に、大場先生から「ホタルへの影響を最小限に止める暖色系LEDをパナソニックとの共同研究で開発しました」というコメントをいただきました。今、いすみ市のゲンジボタルの里の街路灯は全て大場先生が共同開発した暖色系LEDに付け替えられています。そのことをお会いした時に報告しなければ思っていたのですが、それが果たせないままになってしまいました。

こうして振り返ってみると、千葉県のホタル、とりわけ八千代市、富里市、千葉市そして私が住んでいるいすみ市のホタルの調査と保護に関して大場先生の存在がいかに大きかったかを改めて実感させられます。

大場先生のご冥福をお祈りするとともに、先生のホタルへの思いを受け止め引き継いでいけるよう、コツコツと活動を積み重ねていければと思っています。



ホタルサミット in いすみ市にて  
前列左から3番目（写真提供：安藤守男）

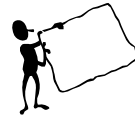


いすみ市ゲンジボタルの里にて  
左から2番目（写真提供：安藤守男）

## 県内の環境保全活動人（団体）紹介 — 56 —

おききました！ この人・この団体

## 学生団体 おりがみ



代表 都築則彦（千葉大学人文公共学府 博士前期課程）

2014年夏、東京2020大会の開催が決定して1年が経とうとする頃、大学に入学した私は「学生団体おりがみ」を結成した。大会準備の流れに乗ることで、特別な大学生活を送ることができるのではないかと思ったことが、設立のきっかけだ。「おりがみ」という団体名は、「おり」ンピック・パラリンピックを、「が」くせい、「み」んなで盛り上げよう、の頭文字を取って名付けた。

五輪・パラリンピックの持つ大きな課題は「何をすれば良いのか分からない」ことだ。私たちも設立当初、その壁に阻まれたまま先に進むことができないことに葛藤した。しかし、まずは何か動かないと何も始まらないのではないかと考え、「ゴミ拾い」を始めた。東京2020大会という大きな舞台を夢見ながら、毎週日曜日朝8時の池袋駅に集合し、ゴミを拾い、ファミレスで2020年の参画アイデアを語り合う。そんな小さな日常の積み重ねが、今のおりがみの活動の原点になっている。

小さな活動を積む中で徐々に規模も拡大し、2018年には東京2020大会参画プログラムの主体団体に認定されるに至った。学生団体でしかないおりがみが、公式イベントを申請する権利を得たのだ。これまでの参画プログラムの企画・協力件数は26件。メンバーも40大学210名にまで拡大し、メディアにも100回以上取り上げられた。東京2020大会を動かす最大規模の学生団体として、さまざまなプロジェクトを企画・運営している。

私たちはこれまで、地域のパラスポーツ体験会のスタッフや、学校の授業の支援などを積極的に行い、大会の機運醸成の草の根的な活動を続けてきた。さらには、学生自ら企画し、新しい活動を生み出すスタイルの活動も行ってきた。そこでは、「スポーツ」「文化」「環境」「国際」「福祉」「教育」の6つのチームに分かれ、参画アイデアを考案・実現している。例えば、「環境」チームでは、明かりを消してキャンドルの元に集まる「キャンドルナイト」を「聖火リレー」の夜企画として提案す

るよう動き出している。「五輪・パラリンピックの思い出」を「環境問題」と結びつけることで、人々の環境への意識を変えようという思いがある。五輪の三本柱は「スポーツ・文化・環境」であることから、東京2020大会組織委員会からの公認も受け、すでに外部のNPOとも協力してプレイベントを実施した。コロナウイルス影響を鑑みて、活動計画を修正しながら、来年の開催に向けて検討を進めている。

これまでの活動の中で、私たちは多くの社会参画の機会に恵まれてきた。その中でメンバーたちは、自らの問題意識を育み、「普通の学生」から「社会課題解決のヒーロー」に成長していった。この機会を、2020年以降の若者たちにも届けたい。そのような思いで大会終了後のおりがみの活動を構想している。普通の若者が「挑戦者」になろうとしたとき、自分たちは何ができるのか。おりがみの企画はすべて、この問いの下に進んでいる。

異分野の活動をひとつひとつ試して自分の色を見つけながら、若者の小さな歩みを、想像もできないような大きな夢へと誘っていく。おりがみのゴミ拾いからの積み重ねが五輪・パラリンピックを動かす大きなうねりに成長しつつあるように、地域に活力を与え、社会を良くしていくと、私たちは考えている。

お問い合わせ他

アドレス：origami.tokyo2020@gmail.com

HP：http://origami-tokyo.com

Facebook：https://www.facebook.com/origami.tokyo.gakusei



## 運営委員会報告

### 6月運営委員会

日時 6月4日(木) 15:30~18:00

場所 千葉市生涯学習センター 研修室3

#### 【報告】

- ・監査実施 5/9
- ・令和2年度第1回理事会 5/16
- ・総会案内 5/17
- ・メール配信 5/18
- ・郵送
- ・地球環境基金交付申請書提出
- ・だより 133号発送
- ・その他

#### 【協議】

- ・総会の役割分担 5/24
- ・SDGs達成のためのESD地域リーダー育成事業展開について 6/8
- ・印旛沼環境基金応募
- ・理事会/infoメンバー/運営委員会の役割分担
- ・だより 134号
- ・理事会 4/25
- ・その他

### 7月運営委員会

日時 7月9日(木) 15:00~18:00

場所 千葉市民活動センター 会議室

#### 【報告】

- ・総会後の報告
- ・市原市環境審議会委員
- ・千葉市公民館講座(緑が丘・葛城)について
- ・いちばら環境フェスタ 今年度は中止
- ・その他

#### 【協議】

- ・会費滞納者の扱いについて
- ・2020年度SDGs達成のためのESD担い手育成事業について
- ・イオンモール柏店イベント 7/24
- ・そごう千葉店イベント出展 8/8~23
- ・コロナに関する市民団体WEBアンケート
- ・印旛沼環境基金助成金申請書案
- ・エコメッセちば臨時総会 7/2
- ・その他

## 第25回「エコメッセ2020inちば」新たな募集のご案内 ~初めて取り組みます オンライン出展募集~

エコメッセ2020inちばは5月から出展者募集を開始しましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を実行委員会にて検討し、新たな出展募集を開始しました。詳細は<https://www.ecomesse.com/>をご覧ください。

#### 【オンライン出展】

SDGsの取り組みや団体の活動紹介等の動画をエコメッセちばホームページトップ(エコメッセSDGsチャンネル)で、2020年11月1日(日)10:00~2021年第26回開催前日まで年間を通してPRします。

#### ■募集コンテンツ (①または②のうち、どちらか1つ)

①写真(10~18枚以内)+各写真のキャプション(20文字程度)

※事務局で、3分間のスライドショーに編集してYouTubeに登録します。

②動画(3分) ご提供データをそのままYouTubeに登録させていただきます。

■出展料：企業、行政 5,000円(消費税込み) 市民団体、大学 2,000円(消費税込み)

※お申込後1週間をめどに出展料をご入金ください。(振込手数料はご負担願います)

■応募方法：エコメッセホームページの申し込みフォームからお申し込みください。

■申込み締切：①写真 9月15日(火) ②動画 10月1日(木)

■提出方法：動画をYouTubeに登録された団体は、URLをお知らせください。

動画・写真データの提供は、ファイル転送サービス等でお送りください。

連絡先 E-Mail：on-line-entry@ecomesse.com

■出展についてのご相談等はE-mailでお願いします。効率的な運用にご協力ください。

問合せ先:事務局 080-5374-0019 E-Mail：on-line-entry@ecomesse.com

### 「特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば」

環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的とする。

#### お問い合わせ

事務局：〒262-0006 千葉市花見川区横戸台 21-13 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

Tel：090-8116-4633

E-mail：info@kanpachiba.com

<https://kanpachiba.com/>

※会費や会員申し込みなどの情報は上記HPでご確認ください。